

みもざ……黄色の小さく丸いお花です。毎年3月8日は国際女性デーとされており、イタリアでは「みもざの日」と呼ばれ、男性が日ごろの感謝の気持ちを込めて妻や恋人、身近な女性にみもざの花を贈る習慣があります。女性たちは家事や育児から解放され、友達と食事やおしゃべりを楽しむ日となっているそうです。

男女共同参画週間事業

✿ パネル展 & 講座 ✿

平成29年度テーマ「男で○、女で○共同作業で◎。」

国は毎年6月23日～29日までの一週間を「男女共同参画週間」としています。本市においても健康福祉センター「うるみん」にて男女共同参画に関するパネル展を開催しました。また、25日に図書館にてお笑い芸人ベンビー氏による読み聞かせ講座、27日にうるみんにて山城彰子氏による琉球・沖縄の女性の歴史に関する講座を開催しました。



～講座編～

「琉球・沖縄史にみる女性たちの姿」



やましる あきこ
山城 彰子氏による講座の様子

受講者の声

- ・「男女が共に平等な社会づくり」の必要性をいかに広めるか考えて行動できるようにしていくことが必要。
- ・沖縄独特の女性の歴史を知ることができました。資料が残っていないことが多いという事実を初めて知り、これからは資料を集める、聞き取りが大事だと思います。

ボクが「イクメン」と呼ばれるようになったわけ



お笑い芸人ベンビー氏による講座の様子

受講者の声

- ・子育ての体験や感じた事など聞いて自分の子育て場面を想像して色々と感じる事がありました。
- ・とてもよかったです。泣いて大笑いしました。
- ・絵本の読み聞かせを通して子育てに参加し、つながりを深めているお父さんの姿はステキです。



取材して
きました～!

～パネル展編～

地域で子どもたちを支援している団体、育休を取得した子育てパパ、地域で活躍する「女性自治会長」へ取材をし、パネル展の中で紹介しました。

宇具志川の男女共同参画

具志川小学校の「イクジイ・イクバア」わかば会 ～わかば会は具志川小学校の守護神!～

朝の交通安全指導、稲作体験、昔遊びの伝承、校舎内の環境整備等々。様々な形で具志川小学校を支援し、子どもたちの豊かな心を育てるわかば会。子どもたちはそこから多くのことを感じ、多くのことを学び、大きく成長していきます。



交通安全指導



稲作体験



環境整備

公民館イキイキ寺子屋 ～地域は学校の応援団～

公民館イキイキ寺子屋は公民館長をはじめ、地域の方々が協力し合い子どもたちに勉強やしまくとうば・書道・清掃・マナー・感謝の心などを教えています。世代の異なる多くの方々が子どもたちを見守り支えています。



あいさつ



書道



しまくとうば

育児休業取得中の パパへインタビュー!

勝連小学校教諭 またよしけんじ 又吉健志さん

妻の出産が双子ということで取得を考えていましたが、実際に生まれると三つ子だったので、取得を決意しました。家族構成は私、妻、息子2人、娘4人の8人家族です。育児休業を取得したからこそ、子どもとたくさん関わることができ、今までできなかった(やらなかった)子育てができ、子育ての大変さを実感しています。世の中のお母さんを心から尊敬しています。子育てに関わる時期は長いようで短いので、できる時に積極的に関わってあげるといいと思います。上司や同僚が育休を取ることに前向きで背中を押してくれました。男性の育児休業を取る人はなかなかいないと思うので、職場が理解をして取得する男性が増えてほしいです。



女性自治会長インタビュー

内間自治会長 うちまさちえ 内間幸枝さん

内間は高齢者世帯が多いので、内間出身の区外の人たちにもお願いして、綱引きや月見会などの字行事に協力してもらっています。また、字発行の「公民館だより」を手渡ししながら交流を深め、情報を収集し、「地域人材バンク」を作成しています。弱い部分(足が痛い)は補ってもらえるよう、区民のみなさんをお願いしています。女性なので、不得意だなど思うところもありますが、周りの人たちに助けをもらいながら、私ができることは何でもやるように努力しています。社会教育委員や行政相談員もやりながら、あらゆる角度から地域のことに理解を深めながら自治会長としての仕事をやっていきたいと考えています。



石川東山自治会長 いけはら 池原トモ子さん

以前から、さまざまな分野にわたって地域活動をしてきましたのでその経験を生かして母親的な立場で地域の子供達や障がい者の方に寄り添っています。女性だから話しやすいこともあると思うので、そういったことを大事にしていきたいと思います。区民のみなさんに喜んでもらえる活動をする事が自治会長の役割だと考えています。「何でも、できる



人が、できる時に、出来る事を」をモットーに区民に求め続けています。女性がいかに社会に貢献できるかを考えながら、社会の中で生きていくことが必要だと思います。

みどり町5・6丁目 かなじょうこ 金地陽子さん

これまで公民館単独で未就学のこどもとお母さんが集まって交流できる場を作り続けてきました。現在は放課後こどもクラブも行っています。「放課後こどもクラブ」と「地域こども会」がつながり、夏祭りなどの行事も一緒に取り組んでいます。これまでの慣習・慣例にとらわれず、時代のニーズに応じた公民館活動を実行していくよう心がけています。また、多くの世代が活用できる



公民館を目指しています。女性会長として、特別と考えるのではなく自分らしく、子育て経験を生かした自治会長になりたいと思います。

思春期の心と体プログラム

うるま市では、男女共同参画推進事業の取り組みの1つとして、市内中学校を対象におきなわCAPセンターの講師を派遣して、思春期の人権とDV予防講座を開催しています。

5月11日、あげな中学校において「思春期の心と体」と題し、講座を開催しました。誰にでもある「思春期」のことを学び、人間関係の中の「じぶん」や「じぶん」が自分らしくいられる「特別な関係」について考えました。



「思春期」は心と体の「成長期」

生徒の声

- ・自分の心と体についてよく知ることができました。困った時は1人で悩まず、周りに相談したいと思います。
- ・自分という存在はとっても大切なことが分かった。
- ・共感するところがいっぱいあって、思春期についていつもより深く考えることができました。
- ・思春期は成長期ということがわかり、少しホッとしました。
- ・一番心に残っている言葉がここにいますすべての人が大切な人、だから自分も相手も大切にしなければいけないという言葉です。

男女共同参画社会づくり推進事業補助金を活用してみませんか

対象団体：

- ①市内に在住または勤務する方によって構成されている
- ②構成員が概ね10名以上
- ③継続的に活動を行っている又は行おうとしている
- ④政治活動、宗教活動又は営利活動を行っていない

対象事業：

男女共同参画社会づくりに関する学習会、講演会等
男女共同参画社会づくりに関する意識啓発事業
その他男女共同参画社会づくりに関する事業

補助金の額：

1事業あたり2万円

男女共同参画センターについてのお知らせ

平成29年4月より、市民協働課男女共同参画係が本庁東棟1階から、健康福祉センター「うるみん」3階へ「うるま市男女共同参画センター」として移転しました。

男女共同参画に関する啓発講座や研修、情報の収集と提供、女性グループ、団体などの自主的な活動の場としての支援など多様な機能を果たすものであり、人材の育成や効果的な事業の展開を図る役割を担います。

場所：うるま市安慶名一丁目8番1号

(うるま市健康福祉センター「うるみん」内)

☎973-8927 / FAX:973-4982

相談窓口のご案内

◆ひとりで悩まずに、まずはご相談ください。◆

- うるま市女性・家庭児童相談室……………☎973-5041
(月～金8:30～17:00/年末年始・祝祭日除く)
- 中部配偶者暴力相談支援センター……………☎989-6603
(月～金8:30～17:00/年末年始・祝祭日除く)
- よりそいホットライン……………☎0120-279-338
(年中無休/24時間対応)
- 沖縄県警察本部警察安全相談(DV等)☎863-9110
- おきなわ子ども虐待ホットライン……………☎886-2900
(月～金17:30～翌日8:30/土日・祝祭日は24時間)
- ている相談室
男性専用(日・月10:00～16:00)……………☎868-4011
女性専用(火～土10:00～20:00)……………☎868-4010
- 性暴力被害者ワンストップ支援センター…☎#7001
(月～土9:00～17:00/祝祭日除く)(☎888-2060)